



# みまっば通信

2015年11月6日発行 第17号

発行 みまさか子育てカレッジ実行委員会

秋祭りが終わり、朝夕めっきり冷えてきました。  
雪花が舞う日も、そう遠くはないかも…  
初めての冬を迎えるお子様の体調がご心配で  
しょう。でも、厚着になりすぎないように気を  
つけて下さい。



**大人より一枚少なくを忘れないで下さい。**



体温の高い小さなお子さんは、こたつやホットカーペットの上で寝て、暖まりすぎると、体温が38度近くまであがってしまいます。

足の裏が、暖かければ、厚着と暖めすぎて、病気ではありません。

靴下を脱がして、一枚服を少なくしましょう。

足の裏が冷たければ、病気かも?!  
すぐに病院へ行きましょう。

**10月2日（金）の「親子で運動遊び」は66組144人の  
皆さんが参加して下さいました。**

ご参加ありがとうございました。駐車場でご迷惑をおかけ  
しました。来年は幼稚園の行事と重ならないように、配慮した  
いと思います。

**手作りおもちゃを増やしました。どのおもちゃが、お気に入り  
でしたか？**



## 子どもの発達の方向性

赤ちゃんだった子どもも、いつの間にかハイハイができるようになり、つかまり立ちができ、一人で歩けるようになります。

このように、子どもの発達にはおおよその順序や方向性があります。その中には、頭部一尾部勾配や中心部一周辺部勾配と呼ばれるものがあります。頭部一尾部勾配とは、子どもの発達は頭部から出発して尾部（腰・おしり）、そして脚部へと移っていくものです。首が据わっていないのに、歩き出す子どもはいませんね。まずは頭の部分がしっかりと発達して、後に腰や足が発達することによって、一人で歩けるようになるのです。中心部一周辺部勾配とは、体の中心線がしっかりと発達してから、手先などの周辺部が発達するというものです。

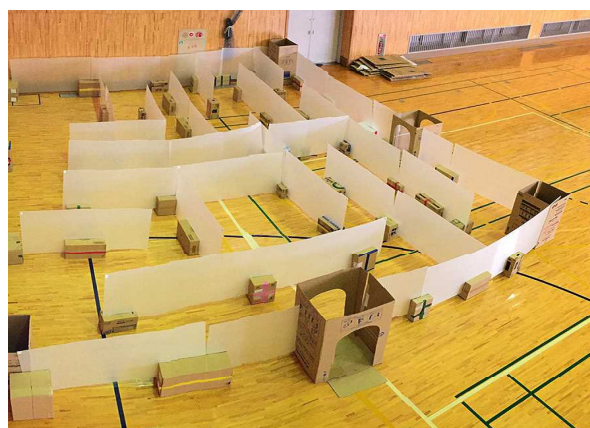
手先の細かな動き（微細運動といいます）が苦手な子どももいるかもしれません。よく見てみると、姿勢が悪く、十分に身体を保持できない場合があります。手先を上手に動かすためには、まず、自分の身体をしっかりと支えられる中心線をつくるのが大事です。そのためには、身体全体を使った大きな動き（粗大運動といいます）を十分に行うことが必要です。

手先を動かすのが苦手な子どもには、外遊びなど、思いっきり身体を動かす遊びをしてみましょう。遠回りに思えるかもしれませんが、それが指先などの細かな動きにつながります。

## 11月6日（金）の「親子で運動遊び」では迷路を作っています。

お母さんと一緒に中に入ってみてください。  
途中に遊び場があります。

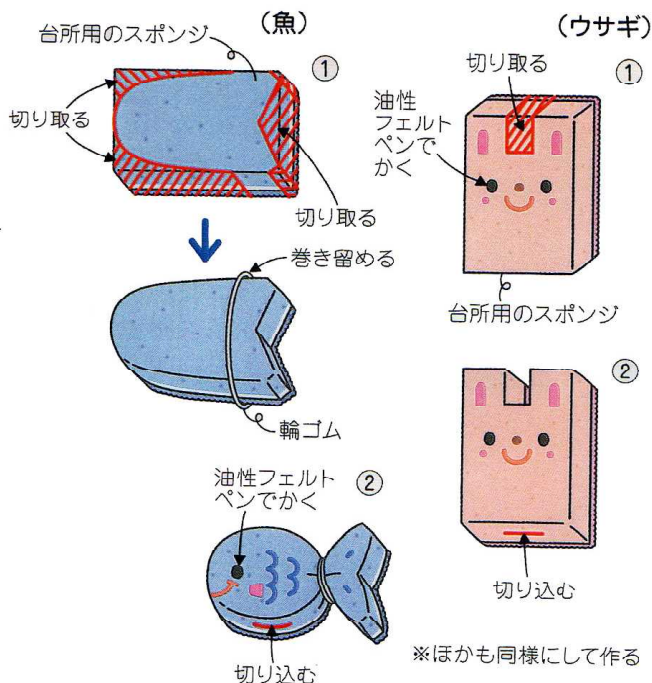
いっぱい楽しんで!!



# かんたん手作り スポンジ人形

スポンジを切って、油性フェルトペンで顔など描いた指人形。  
とっても簡単に作れます。

でも1歳半を過ぎて、お口でおもちを確かめなくなってしまうからにしてくださいね！



スポンジに切り込みを入れて、指を入れる部分を作ります。はさみは先端をスポンジに差し込んで、カッターは刃を少し長めに出すと、切りやすいでしょう。

## イルミネーション点灯式のご案内

美作短大幼児教育学科では、恒例となりましたイルミネーション点灯式を行います。  
少し早いクリスマスプレゼントもあります。  
皆さん見に来てくださいね!!

12月2日〈水〉pm5：40からです。  
美作大学体育館で歌ったり、踊ったりします。  
その後、外に出て、イルミネーションに点灯!

